

平成30年度

中山間地域等直接支払制度の

取り組み状況について

中山間地域等直接支払制度については、平地地域との生産条件格差に関する不利を補正するため、農用地面積に応じた交付金を交付し、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄の防止と農業の持つ多面的機能の維持・増進を図ろうとするものです。

本事業については、第1期対策（平成12年度～平成16年度）、第2期対策（平成17年度～平成21年度）、第3期対策（平成22年度～平成26年度）を終え、平成27年度より『農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律』が施行されたことにより、法律に基づいて行われる恒久的な制度となりました。

現在、平成27年度から本年度までを計画期間として定めた第4期対策を実施しています。集落内での協議によって

定めた集落の将来像の実現に向け、自律的かつ継続的な農業生産活動や農地管理を図る取り組みが実施されています。

具体的には、草地の簡易的な更新の実施や取付道路の補修、農道・営農用水の管理、乳質改善、牛舎等の消毒作業、農地周辺林地の枝払い、環境整備を目的とした集会所周辺への植樹や草刈等の活動が行われています。

本制度の実施については、耕作放棄の防止、土地生産性の維持・向上、担い手の育成等により地域農業への効果は大きいがありますので、

今後も関係者および関係機関各位の理解と協力を得ながら、事業の推進に当たりたいと考えています。

なお、平成30年度における交付金の交付対象面積は6,026ha、協定参加農家数94戸、交付金総額は7千231万5千円となっております。集落別の事業概要につきましては、次の表のとおりとなっております。

交付金の内訳
72,315,283円

国費▶36,157,641円
道費▶18,078,820円
町費▶18,078,822円

集落名	参加戸数(戸)	対象面積(m ²)	交付金額(円)	取り組み内容
問寒別	38	23,383,660	28,060,392	簡易更新の実施、農地・農道・営農用水管理、乳質改善、牛舎等消毒作業の実施、集会所周辺の環境整備
幌延東	21	12,175,145	14,610,174	簡易更新の実施、農地・農道・営農用水管理、集会所周辺の環境整備
幌延西	35	24,703,931	29,644,717	簡易更新の実施、農地・農道・営農用水管理、集会所周辺の環境整備、農地周辺林地の枝払い
計	94	60,262,736	72,315,283	(94戸は重複参加のため、実数は92戸) (幌延東集落:開進集落、上幌延集落、北進集落(3期対策)の3集落が合併) (幌延西集落:幌延集落、下沼南集落、下沼北集落(3期対策)の3集落が合併)

お問い合わせ先：産業振興課 農林グループ 電話：5-1113 告知端末機：5-8815